

ちば里山カレッジ「次世代リーダー養成コース」実施報告書（8）

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「次世代リーダー養成コース」 第 8 回ワークショップ&卒業式 ワークショップ：「みんなで語ろう 私の里山活動」
日時	平成 28 年 1 月 23 日（土） 9：15～15：00
会場	千葉県緑化推進拠点施設 研修室
出席者	受講生 51 名（欠席 9 名）・主催者 5 名・スタッフ 2 名 来賓：千葉県農林総合研究センター 森林研究所 所長 遠藤 良太 千葉県森林課森林政策室 副主査 増田 美幸 千葉県環境財団 顧問 柴崎 郁夫
報告	<p>9：15～12：00 ワークショップ：「みんなで語ろう 私の里山活動」 コーディネーター：特定非営利活動法人ちば里山センター 理事 伊藤 道男 各班 2 グループずつに分かれ、各々準備した卒業レポートを発表しあった。その中から発表する卒業レポートを選び、模造紙にまとめ上げた。</p> <p>継続的な里山活動に必要な視点（マンパワー、人間関係）を課題とした発表、身近な山林相続問題から山林所有者不明事案についての考察、防災拠点としての里山、山林保全活動と地域おこし、癒し空間に視点を置いた福祉のまちおこし、里山活動をきっかけに人と人のコミュニケーションを図る視点など、テーマが独自性を持ち、それぞれの問題意識の高さを感じさせるレポートであった。</p> <p>13：30～15：00 卒業式 ① 開式のことば ② 卒業レポート発表会 ③ 講評 ④ 理事長兼学長式辞 ⑤ 卒業証書・修了証書 授与 ⑥ 来賓祝辞 ⑦ 来賓紹介 ⑧ 卒業生のことば ⑨ 閉式のことば</p> <p>来賓のご臨席を得て卒業式が執り行われた。高橋副理事長の「開式のことば」に続き、卒業レポートについて個々人がコメントした。里山をリハビリテーション空間として利用できないか、里山活動を予防医学と結べないか、異世代交流の拠点とする、里山活動の後継者問題解決には全世代がかかわる仕組みができないか、自治会と里山をつなぐネットワークづくりなど、それぞれのコメントにも印象深いものがあった。伊藤理事の講評に続き、金親理事長から式辞があり、卒業証書、修了証書が授与された。</p> <p>金親理事長は、地方創生による計画が策定され、里山、木材が改めて見直されている。一方で里山活動を支えるリーダーが不在と答える活動団体も少なくない。次世代リーダー養成コースを開講した意義がある。リーダーとして活動を支える際に、里山をいかに楽しく利用できるかも大事な点だと卒業を祝った。</p> <p>来賓の千葉県森林課森林政策室増田美幸副主査、千葉県環境財団柴崎郁夫顧問、千葉県農林総合研究センター森林研究所遠藤良太所長から祝辞をいただきました。受講生を代表して田中武さんは「年齢差が 50 歳以上もある受講生が机を並べたこと」と感動した場面を振り返り、「里山カレッジで学んだ知識と技術を生かして里山活動に励む卒業生の今後の活躍を見守ってほしい」と述べた。</p> <p>高橋副理事長は閉式にあたり、「地方創生で里山に風が吹いてきた」とエールを贈った。</p>

添付資料（写真）



2班Bのワーキング



1班Bのワーキング



3班Bのワーキング



2班Aのワーキング



1班Aのワーキング



3班Aのワーキング



1班Aレポート発表



1班Bのレポート発表



2班Aのレポート発表



2班Bのレポート発表



3班Aのレポート発表



3班Bのレポート発表



金親理事長



増田副主査



柴崎顧問



遠藤所長



卒業証書授与



卒業生が集合